

東日本大震災に対する議会としての対応

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震による津波で、福島第一・第二原子力発電所では、原子力災害対策特別措置法に基づく「緊急事態宣言」が出され、外部へ放射性物質が放出される事態へ至りました。

これを受け、御前崎市議会および原子力対策特別委員会として次のような対応をしてきました。

臨時議会全員協議会 3月13日(日) 11:00から開催

原子力発電所の状況を把握するため、緊急で臨時議会全員協議会を開催し、浜岡原子力保安検査官事務所、中部電力株式会社 浜岡原子力発電所より説明を受け、質疑応答を行いました。

説明内容

- 現在までの福島第一・第二原子力発電所の状況について（浜岡原子力保安検査官事務所より説明）

【報告内容】

- 福島第一・第二原子力発電所：15条通報までの時系列の流れ
- 福島第一・第二原子力発電所：原子炉建屋の仕組み

- 浜岡原子力発電所の状況について（中部電力株式会社 浜岡原子力発電所より説明）

- 浜岡原子力発電所の状況・地震後の点検結果について

【地震後の点検結果報告内容】

- 発電所内のパトロールを実施し、全号機に地震による異状がないことを確認したとの報告。
- 排気筒モニタ・放水口モニタ・モニタリングポストなどの放射線モニタは通常の範囲であり、異状のないことを確認との報告。

- 津波に対する安全性について

- 今回の地震を踏まえて、浜岡原子力発電所にて速やかに実施する対策について

【速やかに実施する対策内容】

- 防水構造の防護扉の健全性確認
- 海水系ポンプ、非常用ディーゼル発電機等の動作確認、点検
- 発電機車の確保、接続手順の策定
- 海水ポンプの電動機予備品確保および非常時の取替手順の策定



原子力対策特別委員会

3月15日(火)

浜岡原子力発電所の地震・津波対策の実施状況を確認するため、現地視察をしました。

視察場所

- 発電機車
- 砂丘
- 非常用ディーゼル発電機
- 海水ポンプ電動機
- 防水構造の扉



浜岡原子力発電所

「東北地方太平洋沖地震を踏まえた緊急時対策訓練」視察

3月29日(火)

中部電力株式会社が浜岡原子力発電所内で実施した津波被害を想定した緊急時対策訓練を視察しました。

この訓練は、地震と津波により外部電源が喪失するなどの非常事態を想定して行われました。新たに配備された発電機車の接続訓練など、次のような訓練を視察しました。

視察した訓練項目

- 発電機車の接続訓練
- 代替注水措置訓練
- シミュレータ訓練

